

ココロやカラダにお悩み・不安のある方の長期就労を応援する情報誌『イコウ』

# イコウ IKOU!

2024年 秋号



第4回イコウ!イラストコンテストイコウ大賞 受賞作品 (作: デグーのともだちさん <テイクハート金町>)

## 【巻頭特集】

誇り高く咲き誇る色彩豊かな大輪の花たち

花王グループ特例子会社

花王ピオニー(株) 代表取締役社長 早川和彦氏 インタビュー

就労支援の「人」

認定NPO法人ワンデーポート

理事長／司法書士 稲村厚氏

いこう!就労移行支援事業所へ!

仲間大募集!“ピアカウンセリング”な事業所ーグッドライフパートナー福島駅前

第4回イラストコンテスト結果発表



一般社団法人社会福祉支援研究機構

# 誇り高く咲き誇る 色彩豊かな大輪の花たち

花王グループ特例子会社\*

花王ピオニー株式会社

代表取締役社長 早川和彦氏 インタビュー

\*企業が障がい者の雇用を促進する目的でつくる子会社のこと。

日本の近代化が始まった明治時代に創業し、当時は決して一般的でなかった「石鹸（せっけん）」を普及させたり、家事においては洗濯用洗剤や食器用洗剤、住居用洗剤を普及させたりと、日本人の生活に寄り添い続け、今なお、私たちの生活を支えている花王株式会社（以下、花王）。  
どこの家庭においても花王の製品を見ないということはないでしょう。私たちにとって、とても身近な企業ですが、その生産の一端を担っているのが障がいのあるメンバーが活躍している花王ピオニー株式会社（以下、花王ピオニー）です。同社の障がい者雇用には、どのような取り組みや想いがあるのでしょうか。早川和彦代表取締役社長にお話を伺いました。

## 花王の伝統を背負って

そもそも花王グループでは1970年代から各事業場（業務拠点）にて障がい者雇用が始まり、工場就労や一般職場就労が行われてきました。そして2005年に「さまざまな障がい特性に応じた仕事の創出・職場づくりは企業の社会的責任であり持続的成長の糧でもある」という考えのもと、花王ピ

オニーが設立され、翌年に特例子会社として認定されました。知的障がいのあるメンバー11名と共にスタートをきった当社ですが、各メンバーには①花王グループ事業への貢献、②社員一人ひとりの成長、③地域社会への貢献、という期待がかけられていました。

社名にある「ピオニー」とは日本語で「牡丹（ボタン）」を意味します。これは、1890年に「花王石鹸」が販売された当時の包装紙のデザインが牡丹だったことに由来しています。



花王石鹸発売時の包装紙のデザイン  
牡丹の花言葉は「王者の風格」

## 能力を引き出し活躍の場を

障がい者指導については、「障がい者は決してできない人達ではない。障がい者といわれて、できる機会を逸している人達だ」というよう

## 花王株式会社について

- ◆ 本店所在地：東京都中央区日本橋茅場町一丁目 14 番 10 号
- ◆ 創業：明治 20 年（1887 年）
- ◆ 売上高：15,326 億円 2023 年 12 月期（連結）
- ◆ 資本金：854 億円
- ◆ 従業員数：8,199 人（連結対象会社合計 34,257 人）※

※2023 年 12 月 31 日現在



<https://www.kao.com/jp/>



花王ピオニー株式会社  
代表取締役社長 早川和彦氏

に考え、次のポイントを大切にしています。

- ◆一人ひとりの特性をよく理解し、長所・得意なことをより伸ばす指導方針
- ◆障がいもその人の一つの個性として受け入れ、真摯に向き合う
- ◆愛情をもって、そして根気よく、諦めない指導を繰り返し、自立を支援
- ◆必要以上の効率化・迅速性を求めず、一歩一歩、確実な成長に繋げる
- ◆新しい取り組みへの挑戦を通して、成長を実感してもらう
- ◆元氣な挨拶、共同作業、研修等への参加を通して社会人としての基礎を固める

各メンバーの可能性をいっそう引き出すため、支援スタッフ間の情報共有も密に行っています。毎日のミーティングにおいてメンバーの様

子や抱えている問題、成長した事柄などについて話し合い、これからの指導に活かすようにしています。

**日常生活や余暇も大切に**

メンバーのフォロワー体制としては、入社後も就労支援機能などと連携し、就労時のみならず、生活面についても注意を払っています。自立のためには、こちらの面も大切になってきます。

余暇についても、定期的にレクリエーション企画を実施しています。「ポッチャ」の大会を開いたり、研修旅行として箱根に一泊二日で行ったりすることもあります。東京都墨田区ご当地の東京スカイツリーにも行きました。メンバーが楽しんで

リフレッシュすることも、大切な仕事だと考えています。

**部門①：プロダクション部門**

当社の業務の二つの柱についてお話しします。一つは、プロダクション部門です。こちらでは、主にベルトコンベアを使用し、各工程を役割分担する流れ作業方式にて製品のパッケージングなどを行っています。



プロダクション部門の業務風景



一人ひとりに愛情を持って自立支援



プロダクション部門の製品例

一人ひとりの特性に応じて得意な作業を受け持ち、持てる力を最大発揮しつつ、メンバー同士お互いが気づかい、チームワークと協働により「よきモノづくり」を実践しています。業務品質はとて高く、外部の業務委託先にも決してひけをとりません。

皆さま、とても親切に取材にご対応くださいました



(向かって左から)

- ◆ 早川社長
- ◆ 花王ピオニー株式会社 プロダクション部門 マネージャー 坂本好匡氏
- ◆ 同 プロダクション部門 支援スタッフ 北村裕次氏
- ◆ 同 オフィスサポート部門 マネージャー 岡田恵美子氏

プロダクション部門の業務内容例

手作業



各種資料等印刷、発送等

情報処理



各種電子化（非接触型）



各種電子化（自動送り）

接遇



イベント受付



会場誘導・案内



各種セット



各種データ登録



各種データチェック



会場設営



パソコン回収



各種シール貼り



データファイル整理



情報機器登録



フロア庶務



来客フロアバントリー支援



花王のブランドを守る重責を担って

「不適合製品発見者の表彰制度」も設けています。私たちの製品パッケージがお客様へ製品を届ける最終工程になることも多いので、そのチェックが非常に大切になってくるのです。不適合製品はお客様からのクレームにもつながってしまうため、その役割は重大です。メンバーは品質チェックについても集中して取組んでおり、該当製品を検出しています。花王の品質ブランドをしっかりと守ってくれているのです。

部門②：オフィスサポート部門

もう一つの柱がオフィスサポート部門です。こちらでは印刷や書類電子化、データチェック、イベント受付、各種庶務など、幅広い内容を行っています。人と関わる業務も多いですが、明るく元気に実施しています。

メンバー数の推移について、2017年の当部門設立以降、順調に増えており、2024年4月1日時点で37名となり、プロダクション部門のメンバー数を上回っています。常時、花王のグループ

会社から任せてもらえる業務を募っているため、これからも業務の種類が増え、メンバーも増えていくと思います。

花王ピオニーの人員の推移

- ◆ 2017年：PRD ▶ 18名 / OS ▶ 1名
- ◆ 2018年：PRD ▶ 23名 / OS ▶ 9名
- ◆ 2019年：PRD ▶ 26名 / OS ▶ 22名
- ◆ 2020年：PRD ▶ 32名 / OS ▶ 26名
- ◆ 2021年：PRD ▶ 34名 / OS ▶ 28名
- ◆ 2022年：PRD ▶ 33名 / OS ▶ 28名
- ◆ 2023年：PRD ▶ 40名 / OS ▶ 27名
- ◆ 2024年：PRD ▶ 32名 / OS ▶ 37名

※PRD→プロダクション部門  
※OS→オフィスサポート部門

引き続き積極的な取組みを推進

今後も、花王グループの障がい者雇用における基本方針に則り、障がいのあるなしに関わらず、全ての人がイキイキと共生できる社会づくりを目指してまいります。当社としては、その中核的な役割を果たすべく奮闘していきたいと思っております。グループとしての法定雇用率の維持や向上を牽引することも大切です。プロダクション部門では新製品の取込

花王グループの障がい者雇用の基本方針

障がいのある人もない人も共に働き共に生きる社会を目指して  
障がいのある社員も働きやすく、働きがいのある職場環境をつくる

I ダイバーシティの尊重：多様な能力・個性・価値観の受容と結集

II 社会のサステナビリティ実現への貢献：よきモノづくりを通じた働く場の積極的な提供



楽しさ、厳しさ、充足感を感じて欲しい

## 花王グループの障がい者雇用のあゆみ (抜粋)

- ◆ 1970年代頃～：各事業場で、障がい者雇用開始
- ◆ 1993年：重度身体障害者と佐福祉工場の操業開始（花王は技術供与・業務委託を担当）
- ◆ 2003年：和歌山工場が全国社会就労センター協議会から感謝状を受賞
- ◆ 2005年：「障がい者雇用の基本的考え方」策定・障がい者採用のHP立ち上げ / 花王ピオニー設立
- ◆ 2006年：「障がい情報取扱ガイドライン」策定・「障がい者雇用ガイドブック」作成、配布 / 花王ピオニー特例子会社認定
- ◆ 2007年：東京都雇用開発協会から「障害者雇用優良事業所」(※1)を受賞
- ◆ 2016年：「障がい者サポーター」を組織化
- ◆ 2017年：花王ピオニーが、葛飾区から表彰状を受賞
- ◆ 2018年：花王ピオニーが、東京都から「エクセレントカンパニー賞」(※2)を受賞
- ◆ 2020年：和佐福祉工場を譲受花王和歌山工場の組織として運営を開始
- ◆ 2023年：花王ピオニーが、「もにす認定」を取得 (※3)

もにす認定マーク



- ※1…障がい者を積極的に雇用している事業者などで模範的な業績をあげている事業者に対し、厚生労働大臣が行う表彰制度
- ※2…障がい者が職場でいきいきと活躍することができる環境のため、特色ある優れた取組みを行う企業への表彰制度
- ※3…障がい者の雇用の促進及び雇用の安定に関する取組みの実施状況などが優良な事業者を厚生労働大臣が認定する制度

みによる雇用拡大（新ライン追加）を、オフィスサポート部門では先ほどもお話しした通り、新規業務取込みによる雇用拡大を実現していきます。

採用活動にむけての継続的な取り組みも行います。例えば、職場見学会があります。これは障がいのある人も「頑張れば普通に仕事ができること」を、本人・保護者・学校関係者・福祉関係者などのみなさまに職場見学を通じて認識していただくというものです。

さらに、職場実習もあります。障がいがある生徒及び休職の方などを中心に実習生として受入れ、実習を通し、「働く楽しさ・厳しさ・仕事の適性」を学び・確認し、今後の就労活動に活かしていただくと考えています。

### 就労を目指している皆さまへ

現在、障がいがあつて就労を目指す皆さまへは、ご家庭での日頃の生活が大切だとお伝えしたいです。そこで培ったものが、会社での安定した業務につながります。

企業が求める人材は、まず「健康で働く意欲の高い人」です。例えば、遅刻や突然の休暇はみんなの仕事に迷惑をかけます。また、働く意欲の低い人が参加するとチームワークが乱れる原因となってしまうです。

つぎに「人間関係を大切にする人」です。会社とは一人で仕事をする場ではありません。みんながお互いに協力しあい、力をあわせて一つの事を成し遂げる場です。お互いが気づかい、理解しあい、チームワークを尊重することが大切です。仕事で必要な能力は、業務を通じて身につけることができますので、安心して企業への就職にチャレンジしていただければと思います。



早川社長は熱を込めて会社紹介をしてくださいました

## 花王ピオニー株式会社について

- ◆ 所在地：(本店) 東京都墨田区文花 2-1-3
- ◆ 設立：平成 17 年 (2005 年)
- ◆ 社員数：97 名 (うち、障がいのある社員 69 名・2024 年 4 月 1 日現在)
  - ・プロダクション部門：すみだ
    - 障がい内訳：知的障がい 30 名 / 精神障がい 1 名 / 身体障がい 1 名
  - ・オフィスサポート部門：かやば・すみだ
    - 障がい内訳：知的障がい 33 名 / 精神障がい 4 名



10年ぶりの再会記念写真 (向かって) 左：両角 右：北村さん

社会福祉支援研究機構が花王ピオニー様に取材するのは2回目。1度目は、2014年に専務理事の両角が北村さん(当時プロダクション部門課長)にお話を伺いました。



## いこう! 就労移行支援事業所へ!



事業所内は、支援員も利用者さんも、みんなで楽しい話題で盛り上がる。



入口付近にある看板からも、明るくにぎやかな歓迎ムードが漂っていた。



壁に飾られた、利用者さん達が制作したアート作品。取材に応じてくれた岡田千里所長(右)と高橋ルミサービス管理責任者(左)。



<今回お伺いした事業所>



### グッドライフパートナー 福島駅前

## 仲間大募集!“ピアカウンセリング”な事業所

全国の就労移行支援事業所では、利用者の心身の健康維持と就労に向けた技能取得、安定した生活リズムの確保など、多様なニーズに応えるサービスを展開しているが、そこには事業所ごとの特色や魅力がある。本コーナーでは実際に事業所に訪問し、見て、聞いて、触れて、感じたことをレポートする。

#### 仲間がいることの素晴らしさを再認識

宮崎県と福島県、計4拠点で開催するグッドライフパートナー。ここ福島駅前には3番目であり、2024年7月の郡山(福島県)の開所へと続く。福島県は運営母体の会長の出身地ということもあり、思い入れのある土地だということ。まずはじめに、事業所として大切にしていることを岡田所長が教えてくださいました。

「明るく楽しく、元気に。これが合言葉です。他の事業所と比較しても30%増しだと思います(笑)。利用者さんたちの気持ちを軽く、朗らかにすること。それが私たちのミッションです。その為には、利用者さん同士の活発なコミュニケーションも大切です。支援員を交えて、日々楽しい会話がなされています。利用者さんの年代は10代から50代まで、支援員の年代も20代から60代までと幅広いので、話題が豊富で盛り上がりやすい。どのようなネタでも、誰かしらが拾ってくれます(笑)」

この日、取材にお伺いしたのはちょうどお昼休みの終盤。事業所に入った時の、ワイワイとした華やかな雰囲気

ということ、就労に向けての訓練においても有効だ。

「例えば、PCのソフトの使用方法など、利用者さん同士で教え合うことも多いです。書道のプログラムでは、先生を務めてくれる方もいます。また、当事業所のグループワークは、職場での実務さながらの訓練も多いのですが、そこでも利用者さんの連携がカギになります。清掃実習では役割分担を決めたり、調理実習ではメニューを協力して決めてもらったり。プログラムの企画を立ててもらったりもしますが、企業さんからの企画書や稟議書を皆さんで作ってくれています(高橋さん)」

調理のイベントでは、たこやきやチョコバナナなどもつくるといいます。縁日のようなメニューを仲の良い人たちで作る、一緒にはおぼる。実に楽しそうな風景が浮かんでくる。

#### 気遣い合い、癒し合い、勇気づけ合い

「当事業所では『ピアカウンセラー』の資格を取得される方が多いのです。仲間同士で、悩みを聞いたり、共感したり、励ましたり。月に一度、『ピアカウンセリング』のプログラムも開催しています。利用者さんがチームを決めたり司会進行を務めたりしてくれるプログラムですが、ここでは支援員が悩みを相談することもあります。地域にお住まいの外部の方が参加されることもあります。ご自分のことを振り返ることができたり、大人気です(岡田所長)」

※仲間(peer)がメンタル不全になった時に理解するためのスキルを、メンタル不全の当事者の声から学ぶことができる資格。

岡田さんは「利用者さんは支援員を映す鏡」と語ってくれたが、支援員にそのような考えがあるから、利用者さんも他の利用者さんに自分の姿を重ね、互いを思いやったり、「して欲しいこと」をしてあげたりできるのかもしれない。実際に、当事業所の卒業生は就職先から「気遣いができる」と評価をされることが多いという。

#### 事業所への通所を検討している方へ

「あなたは決して一人ではありません。ここには一緒に悩み、考え、笑い合ってくれる仲間がいます。一人の利用者さんを事業所全体で応援していく。それが私たちの考えです。ぜひ、一度見学にきてみてくださいね(岡田所長)」

「あなたのお越しを待っています。私たちと共に明るく楽しく、充実した時間を過ごしましょう。歌って踊る支援員もいますからね(高橋さん)」

取材に来た際、利用者さん達はとてもフレンドリーに、にこやかに迎え入れてくれた。この事業所であれば、初めて来る人でも緊張せず、周りに溶け込むことができるのではないだろうか。

#### 事業所お問合せ先情報

- グッドライフパートナー福島駅前  
福島県福島市置賜町 1-29-901A  
TEL : 024-563-5119
- グッドライフパートナー郡山  
福島県郡山市大槻町字菅田 55-14  
TEL : 024-983-0391
- グッドライフパートナー延岡  
宮崎県延岡市古城町 1-3-17  
TEL : 0982-20-9373
- グッドライフパートナー宮崎  
宮崎県宮崎市宮田町 11-32-501  
TEL : 0985-83-9041



# わたしたち！ 就労移行支援事業所です！

毎号ピックアップして、全国の社会福祉支援研究機構加盟の事業所をご紹介します。

ストレスのないずっとシアワセで“あなた”らしい人生探しのお手伝い

## ティオ札幌駅前（北海道）



北海道札幌市北区北 6-6-2-11  
第3山崎ビル 3F

◆TEL 011-299-2745  
◆E-MAIL info@tio-sapporo-e.jp

<https://tio-sapporo.jp/>

これが事業所の名物ワーク！

### 『活トレ』講座

ティオで学ぶシアワセになるための自立型15原則をアニメなど身近な題材から学ぶ大人気講座です。



講座風景

障がいのある方へのメッセージ

人生は1人マラソンです。必ず1等賞が取れます。誰かと比べたりする必要はありません。ただし、1人マラソンで勝つための条件が1つだけあります。それはゴールを決めること。あなただけの力が発揮できるゴールを、一緒に探してお手伝いするのがティオ札幌駅前です。

Make a fresh start 「さらに・新たに・再び」

## アフレッシュ水戸（茨城県）



茨城県水戸市泉町 2-2-33  
水戸泉町ビル 2F

◆TEL 029-239-5547  
◆E-MAIL mito-office@afresh-iwaki.jp

<https://mito.afresh-iwaki.jp/>

これが事業所の名物ワーク！

### Life is Learning

人生とは問いである。自分を形作っていたものを手放し純粋な自分をDiscoverしていく。



刈払講習会風景

障がいのある方へのメッセージ

自己肯定感とは、自分の存在を自分自身で受け入れて大切な存在だと肯定する感情や感覚の事です。「資格取得」≒「就職できる」ではありませんが、「資格取得」=「自己肯定感を高める」といえます。すなわち変化の激しい社会において「根っこ」をどれだけ頑丈にするか。自信を持って諦めない生き方をするための方法の一つは資格取得なのかもしれません。

心が元気になれる場所！

## シャローム西川口駅前（埼玉県）



埼玉県川口市並木 2-1-7  
フォーパーツ並木 302

◆TEL 048-229-4937  
◆E-MAIL nishikawaguchi@shalom-jp.org

<https://www.shalom-jp.org/>

これが事業所の名物ワーク！

### 健康力アップ！ウォーキング

近隣の運動場まで歩き、噴水広場で休憩をするのがブームです。



プログラム風景

障がいのある方へのメッセージ

シャローム西川口駅前は、私たちにつながってくださる全ての方々の「心が元気になれる場所」でありたいと願っております。お一人おひとりに寄り添いながら「なりたい自分」の実現に向けたサポートをさせていただければと思っております。

底抜けに明るい就労移行事業所です。

## ルミノーズ川崎宮前平（神奈川県）



神奈川県川崎市宮前区宮前平  
1-10-6  
エコビル 202

◆TEL 044-750-7734  
◆E-MAIL miyamae@luminoso.co.jp

<https://www.luminoso-kawasaki.org/>

これが事業所の名物ワーク！

### モルック

事業所対抗で大会を行っています！



モルック風景

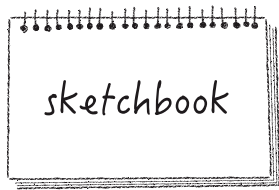
障がいのある方へのメッセージ

ルミノーズとはイタリア語で「明るい」という意味です。今お一人で不安や悩みを抱えている方に寄り添い、一人でも多くの方が明るい気持ちで前を向いて歩み始められる様に支援をさせていただきます。一人で悩まず、いつでもお声掛け下さい。

# 第4回イコウ!イラストコンテスト結果発表

イコウ<2024年夏号>にてご案内した「第4回イコウ!イラストコンテスト」にたくさんのご応募をいただき、誠にありがとうございました。  
ここでは、読者の皆さまの素晴らしい作品の中から表彰作品について、紹介いたします。

<主催> 一般社団法人社会福祉支援研究機構



## イコウ大賞



『わ~いわいわい』  
デグーのともだちさん  
(テイクハート金町 / 東京都)

### 表彰の言葉

秋の公園にみんなでおでかけ。事業所でのウォーキングプログラムの風景が浮かびました。暑さの過ぎ去って、気持ちの良い季節。ぜひ、皆さまも事業所を飛び出して、秋の自然を楽しんでくださいね。

## 審査委員長賞 京美

『負けられない一歩』

Katapami さん  
(ルミノーズ町田シバヒロ前 / 東京都)

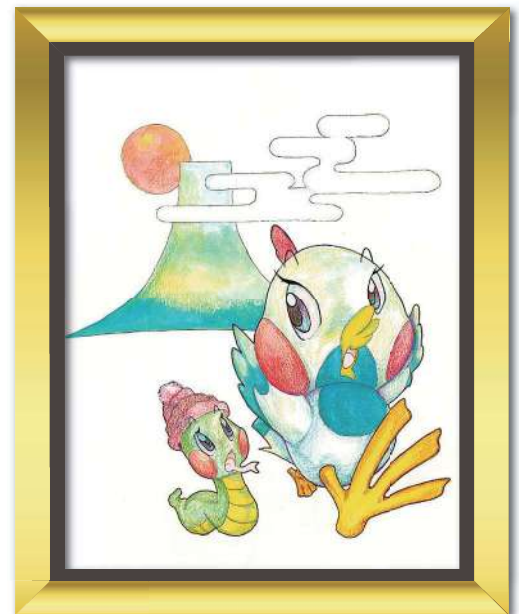
<審査委員長>  
飯名京美氏  
(日本画、水墨画家)

<http://saibokudo.com/>



### 表彰の言葉

濃淡の表現や重色が見事です。特に瞳の部分や陰影は系統の異なる色を重ね、深みのある表現となっています。表情も豊かでまとまりのある作品に仕上がったと思います。

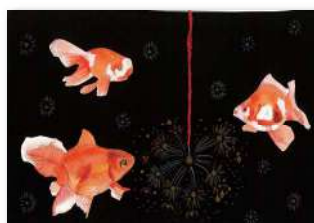


## みんなの応募作品ギャラリー①



お庭さん  
(ラフィオ太田 / 群馬県)

きの子さん  
(ア・ドマーニ久喜 / 埼玉県)



みーなさん  
(バスセンター大船 / 神奈川県)

S・Hさん  
(ぶらす守口 / 大阪府)





みんなの応募作品ギャラリー②



かねさん  
(グッドライフパートナー 福島駅前 / 福島県)



NNさん  
(エール近鉄八尾西口 / 大阪府)



ひのさん  
(パセセンター 東戸塚 / 神奈川県)



うさぎ番長さん  
(シャローム浦和 / 埼玉県)

※各受賞者には、各受賞作品に表彰の言葉を添えて、額に入れて進呈いたします。



デジタル部門賞

『童 (わらべ)』  
きのこさん  
(アポーヨ柿田川 / 静岡県)

表彰の言葉

事業所のマスコットキャラと遊ぶコマ。事業所愛が感じられる、透明感のある色彩が素敵な作品です。

優秀作品賞

『竜』  
こうすけさん  
(フィン大橋北 / 福岡県)

表彰の言葉

強さと共に、心優しさが感じられるドラゴン。安らげる居場所に帰るのでしょうか、夕暮れの背景も◎。



第4回『イコウ! 川柳コンテスト』のご案内

主催：SSO 一般社団法人社会福祉支援研究機構

- ※テーマ：あなたの好きなお題を、5・7・5の文字数で表現してください。
- ※賞および賞品：優秀賞（1名）／準優秀賞（3名）※受賞者には、作品に表彰の言葉を添えて、額に入れて進呈いたします。
- ※募集期間：2024年9月20日（金）～2024年11月20日（水）
- ※応募方法：作品にペンネームを添えて、ご利用の就労移行支援事業所（社会福祉支援研究機構加盟）にご提出ください。  
※手書きデータのスキャンでも、テキストデータでも、どちらでも構いません。
- ※結果発表：『イコウ』次号<2025年新春号>の誌面にて受賞者を発表いたします。

※2024年11月9日13時～、ZOOMプログラム「繋がってるよ！笑顔になろうよ！」にて川柳講座が開催されます。

詳しくは、ご利用の就労移行支援事業所（社会福祉支援研究機構加盟）にお問い合わせください。

## Person of employment support

## 就労支援の人

障がい者の就労においては、様々な立場から関わる支援者の存在が欠かせません。ここでは、支援者の方々に「人となり」や「経歴」、「モットー」などを自由に語っていただきます。

認定NPO法人ワンダーポート 理事長  
稲村厚司法書士事務所 所長／司法書士

## 稲村 厚氏 Atsushi Inamura

稲村氏の著書

『【増補改訂版】ギャンブル依存と生きる』(彩流社 2022年)  
『誤解だらけの「ギャンブル依存症」』(共著・彩流社 2022年)

一念発起し司法書士となる

私は静岡県は伊豆の出身、生徒会長などを務めた高校時代までは静岡で過ごし、大学時代は東京、卒業後に一旦は地元出版社に就職します。しかし法学部卒業ということもあって法律系の資格を目指すとうと、あらためて神奈川県川崎市にて一步を踏み出しました。司法書士事務所働きながら資格の勉強を行い、司法書士の資格を取得。その後はこの地(川崎市)にて事務所を設立し、不動産登記や法人登記、債務整理など、様々な実務に携わりました。その中で、現在でも続けているギャンブル依存症に関する取組みを開始することとなります。

ギャンブル依存支援をテーマに

私の現在のスタンスを決定付けた恩師の言葉があります。「君たちは司法の『落穂拾い』をするべきだ」というものなのですが、私はこれを「弁護士救済の網からこぼれてしまった方々を救済する司法書士の仕事である」と解釈し、自身のフィールドとして債務整理やギャンブル依存支援に注力していきます。

ギャンブル依存の問題解決を支援しているNPO法人ワンダーポートは2000年の設立。2005年から私が理事長を務めています。同様の依存症支援機関としては、アルコール依存支援の「ダルク」や薬物

## 目指すは司法制度における『落穂拾い』

ともに旅する

依存支援の「マック」などがありますが、ギャンブル依存支援としては当団体が日本初だと思っています。なお、そこにある考え方は、「債務整理をするだけでなく、生活環境の立て直しを図っていかないと、根本的な問題は解決しない」ということです。

ギャンブル依存は病気ではない

アルコール依存と薬物依存の治療には医師の治療が必要ですが、ギャンブル依存については、医師でなく法律家の存在が必要だと思います。彼らを助けるためには債務整理が必要であり、金銭問題が解決すれば、依存から脱却できるケースが多くあります。

つまり、ギャンブル依存症は病気ではなく、その人が置かれた環境問題ではないかと思っています。「お金が借りられてしまう」「ギャンブル施設が身近にある」といった社会的な問題であるにも関わらず、病気という個人的な問題に矮小化されてしまっている印象を受けます。当事者支援については、現在の国の方針では医療的側面が強調されていますが、もっと福祉的な側面が必要なのだと思います。

就労と共に余暇を大切に

ギャンブル依存を支援していくためには、「当事者と目と目を合わせ、寄り添っていくこと」が大切だと思います。医師は病気と向き合いますが、私たちは人と向き合っています。私は名刺において自身を「ともに旅する人」と表現していますが、これも悩みを持つ人と共に苦楽を共にしながらその人生をサポートしていきたい、という想いの表れです。

生活の立て直しを図っていく上では、就労が大切になってきます。仕事を充実させて、そこにやりがいと生きがいを感じることが重要です。ただし、当団体では職業訓練のようなことはしていません。それは他団体に任せ、こちらでは運動をしたり、農作業をしたりといった「余暇を楽しむこと」を重視しています。余暇が楽しければ、ギャンブルをする時間もなくなり、意欲も薄れます。仕事と余暇の充実。これこそが生活再建のポイントです。現在、就労のための訓練中の方々も、日ごろからぜひ、余暇を楽しむための趣味探しをしていただければ、これからの人生がより充実するのではないのでしょうか。



## Profile

1959年生まれ。日本初のギャンブルに問題がある人の支援施設、NPO法人ワンダーポートの設立に関わり、現在、理事長を務める。NPO法人リカバリーサポートネットワーク理事。NPO法人消費者機構日本監事。その他、精神保健福祉センター等において家族教室講師や個別相談を担当している。

# SSO 社会福祉支援研究機構ジャーナル

一般社団法人社会福祉支援研究機構HP : <http://social-so.net/>



## 最新の取組みのご報告

### ①日本職業リハビリテーション学会「島根大会」参加

佐野理事長が参加



8月23日、24日に開催された日本職業リハビリテーション学会「島根大会」に同学会会員である当機構の佐野理事長が参加しました。今大会のテーマは「職業リハビリテーションにおける『本人中心』を問い直す」。講演やワークショップや分科会など、多くのプログラムが用意されており、事業所運営に欠かせない多くの学びと気づきを得ることができました。また、多くの人との再会や出会いがありました。



佐野理事長(左)と  
同学会の朝日雅  
也会長(右)と。

職業リハビリテーションとは  
障がいをもっているが故に就労が難しくなっている人にも、職業を通じた社会参加と自己実現、経済的自立の機会を作り出していく取組み。

登壇者の中川真弓さん(中央)と厚生労働省福岡労働局の小野寺徳子局長(右)と。



### ②当機構加盟事業所向け「会社説明会」

2024年6月～7月開催分のご紹介

当機構加盟事業所の利用者さんがより魅力的な就職先を見つけられるように、様々な会社に説明会を開催いただいています。

- ◆7月23日：東京海上ビジネスサポート(株)大阪支社／保険業 (東京海上グループ特例子会社)
- ◆7月19日：ジブラルタ生命保険(株)／保険業
- ◆7月4日：東京都ビジネスサービス(株)／サービス・情報通信業 (東京都と(株)システナとの第三セクター企業)
- ◆6月27日：(株)アダストリア・ゼネラルサポート／服飾業 (株)アダストリア特例子会社)

### ③「イラスト講座」&「筋トレ講座」開催

「繋がってるよ!笑顔になろうよ!」第60・61弾



全国各地の加盟就労移行支援事業所だけでなく、在宅訓練をされている利用者さんとも繋がるこのイベント。今回は「イラストの描き方講座」と「簡単筋トレ講座」を行いました。

## 近日の開所情報

2024年7月1日開所

### ◆グッドライフパートナー郡山◆



(株)グッドライフパートナー 代表取締役会長 丹羽 裕幸さん(右)  
同 代表取締役社長 岡田千里さん(左)

福島県郡山市大槻町字菅田 55-14  
TEL:024-983-0391  
<https://good-life-partner.com/>

<関連事業所>

- グッドライフパートナー延岡 (宮崎県)
- グッドライフパートナー宮崎 (宮崎県)
- グッドライフパートナー福島駅前 (福島県)

## 全国の加盟事業所

2024年9月1日現在 **87** 事業所



### ❖題字の作者



1981年山口県岩国市生まれ。18歳の時イギリスに短期留学。路上アーティストに感銘を受け「どこかで誰かの力になりたい」と思い、OLのかたわら活動を続け25歳で出版を機に独立。その後、東京に拠点を移し、ニッポン放送出演やラジオパーソナリティーなどを務め、気持ち伝わる筆ペン講座や講演活動を行い、活動の場を広げている。2011年より全国1万人折り句キャラバン〜10代のみんなと折り句でありがとうを伝えよう〜をスタート。

MIKAKO ポエムピクチャーアーティスト / 折り句作家

### ❖誌名『イコウ』について

本誌名『イコウ』には、就労移行支援事業所の「移行」やポジティブかつアクティブな「行こう!」というフレーズからのイメージに加え、読者の皆さまがほっと一息つくことのできる「憩う」タイミングで読んで欲しいという想いが込められています。ぜひ、末永くご愛読いただければ幸いです。



## 機構加盟の就労移行支援事業所の利用者さんの作品を募集しています

『イコウ』では、皆さまからの次のような作品を募集しています。

写真（スマートフォンでの撮影可） / イラスト（手書き・グラフィックデータ問わず） / 川柳 / 俳句 / 短歌 など

ご応募いただいた作品は、本誌表紙や誌面上でご紹介いたします。

※ご応募作品数によっては、掲載できない場合もございます。作品はイコウ編集部のメールアドレスまで「データ形式で」お送りください。

※作品には作者名（ペンネーム可）を添えてご応募ください。就労移行支援事業所による利用者作品の一括応募も可です。

### ❖イコウ-IKOU!- 編集部のご案内❖

❖社会福祉支援研究所株式会社内イコウ編集部 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-4-21 サンパーク高田馬場109❖

発行人：佐野敏夫 / 副発行人：両角康史 / 編集長：大槻一敬 / 副編集長：古澤和也

TEL：050-5437-2755 / E-MAIL：hensyuubu@social-so.net

## 社会福祉支援研究機構の目指す 「就労移行支援」

①一人でも多くの“一般就労”を実現

②最適、最短の長期の“一般就労”を実現

③“一般就労”実現の輪を全国に

就職実績累計

令和6年3月31日時点

3,830名就職

資格合格実績累計

令和6年6月30日時点

13,750名合格

## 目指せる資格は70種類以上

### <目指せる資格一例>

- ❖P検(ICTプロフィエンス検定協会)❖ ❖ビジネス法務基礎★
- ❖ビジネスプレゼンテーション基礎★ ❖メンタルヘルス基礎★
- ❖パーソナルキャリアリスト検定 ❖ビジネス実務マナー3級❖
- ❖秘書検定❖ ❖サービス接客検定❖
- ❖ビジネス文書検定❖ ❖ビジネス実務法務検定試験
- ❖色彩検定3級❖ ❖コミュニケーションリーダー2級★
- ❖ピアカウンセラー★ ❖コミュニケーション基礎★
- ❖高等学校卒業程度認定試験(高卒認定試験)
- ❖ナラティブメディエーター講座

★…試験免除プログラム対象資格 ❖…事業所内受験対象資格



一般社団法人  
社会福祉支援研究機構

<https://social-so.net/>

